

知覚動考「とも・かく・うご・こう」



校訓 自主…失敗を恐れず、やりたいこと、正しいと思うことをしよう
友愛…ありのままの自分を愛そう、人のよいところを見付けよう
勤労…「世のため人のため」が自分の幸せにつながる

令和6年5月22日(水)
No.10 South Dream
文責：杉山 尚也

5月15日(水)第1回 South Dream～未来へ向かって～が開催されました！

順天堂大学教授フランソワ・ニヨンサバさんをお招きし、「夢を諦めるな！～激動の半生を振り返る～」をテーマに講演をして頂きました。

日本に生まれてきた私たちは恵まれていると改めて実感することができました。しかし、世界の中でも競争力を失っている日本に対して「夢を諦めるな！」と背中を押されているような感じがしました。とても熱い90分になりました。



<生徒の感想>

今回の講演は夢を追う自分たち中学生にとってもためになることを話してくれた。自分は夢なんて半ば叶うはずがないと諦めていたが、この講演を聴いて、失いつつあった夢に希望ができた。自分たちは学校に行けて毎日3食ご飯を食べられるほど恵まれていることを知って、もっと学ぼうと思った。

ニヨンサバさんの諦めない心に僕は関心しました。ルワンダで家族の多くが亡くなったのに、自分には「夢がある」ことで乗り越えられるのがスゴイと思うと同時に悲しくなりました。僕は、ニヨンサバさんのような大志をもっておらず、自分の強みと思っていた「諦めない心」も怪しくなりました。でも、ニヨンサバさんの言ったとおり、自分に自信をもってモチベーションを保つことが大事だと思いました。あとは、英語を独学で覚えたり、5カ国語しゃべれたりするのすごすぎ！

講話を聞いて、諦めないことの大切さを改めて強く感じました。どんなに環境が恵まれていなくても、強い心を持ち夢に向かっていこうとする前向きな姿勢でいれば、大きな夢も叶えられます。日本という恵まれた環境の中で生まれた私たちは、当たり前だと思っていることでも1つ1つに感謝の気持ちを持つことが必要だと思います。長い人生の中で、つらい事や悲しい事を何度も経験すると思いますが、どんな時でも自分の夢を忘れずに、強い気持ちで立ち向かっていける人になりたいと思いました。

私は、「これになりたい！」という大きな夢はないけれど、フランソワさんの話を聞いて、夢だけじゃなくて、将来をあきらめると言われたような気がしました。人種や性別に関わらず、差別が日本でもあることを知って、今まで関係ないことに感じていた差別問題が急に自分の近くにある問題になったような気もしました。夢だけではなく、何かをあきらめないことを意識すれば、「めんどくさい」を言わない自分に一歩近づけるかなと思いました。

講話を聞き、自分たちがとても恵まれた環境であることを、改めて理解した。アフリカでは、水も満足に得られないことを知り、これからは節水、節電をもっと心がけたいと思った。「失うこと、失敗することで人は成長する」という言葉がすごく印象に残り「失敗」という言葉の感じ方が変わった。自分はまだ大きな夢をもっていないけれど、夢ができたときは、失敗してもあきらめずに、「自分はできる」と考えながら、たくさんの方に挑戦していきたい。